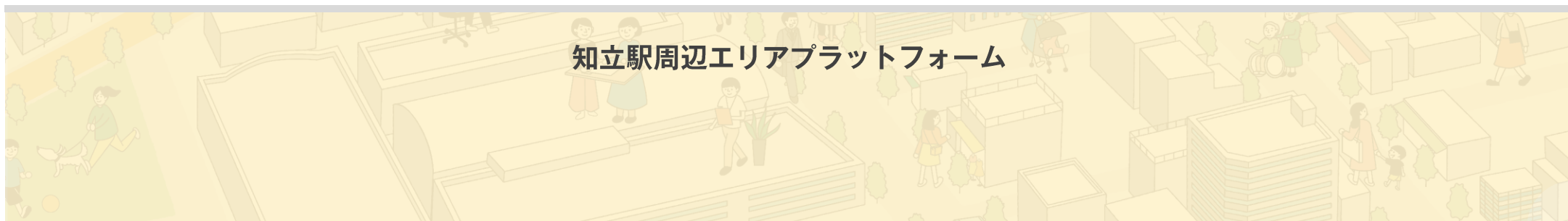




知立駅周辺エリア未来ビジョン（中間とりまとめ）



知立駅周辺エリアプラットフォーム

CONTENTS

contents

01

未来ビジョンについて

- 1-1 知立駅周辺エリア未来ビジョンとは
- 1-2 知立駅周辺エリアの役割
- 1-3 未来ビジョンの策定主体

contents

02

エリアビジョン

- 2-1 エリアのコンセプト
- 2-2 将来のまちと暮らしの姿
- 2-3 5つのまちづくり方針
- 2-4 エリアごとのイメージと重点エリア

contents

03

アクションプラン

- 3-1 将来のまちの姿の実現ステップ
- 3-2 まちづくり方針別のアクションプラン

contents

04

ビジョンの実現に向けて

- 4-1 率先プロジェクト[2024-2025]
- 4-2 ビジョン実現の進め方

知立駅周辺エリア未来ビジョンとは

知立市の市民・行政・企業・鉄道事業者が一丸となって実現する 「100年に1度のまちづくり」による知立駅周辺エリアの未来です

現在、知立駅周辺エリアは連続立体交差事業及び駅周辺土地区画整理事業等により、まちの姿が大きく生まれ変わろうとしています。

このビジョンは、このエリアの未来に対する皆さんの想いを1つにまとめ、
エリア内外に発信・共有することで、具体的なアクションを起こすためのものです。

エリアの将来都市像と方向性、そしてその未来を実現するための道のりや方法を示します。

10年後・25年後を目指して未来を描きます

着実な未来の実現を見据え、短期(5年後)、中期(10年後)、長期(25年後)の視点で考えます。

2030

5年後

連続立体交差事業が
完了後の未来

2035

10年後

連続立体交差事業及び
駅周辺土地区画整理事業が
完了後の未来

2050

25年後

その他の知立駅周辺における
整備事業がすべて完了した
後に実現される未来



contents

01

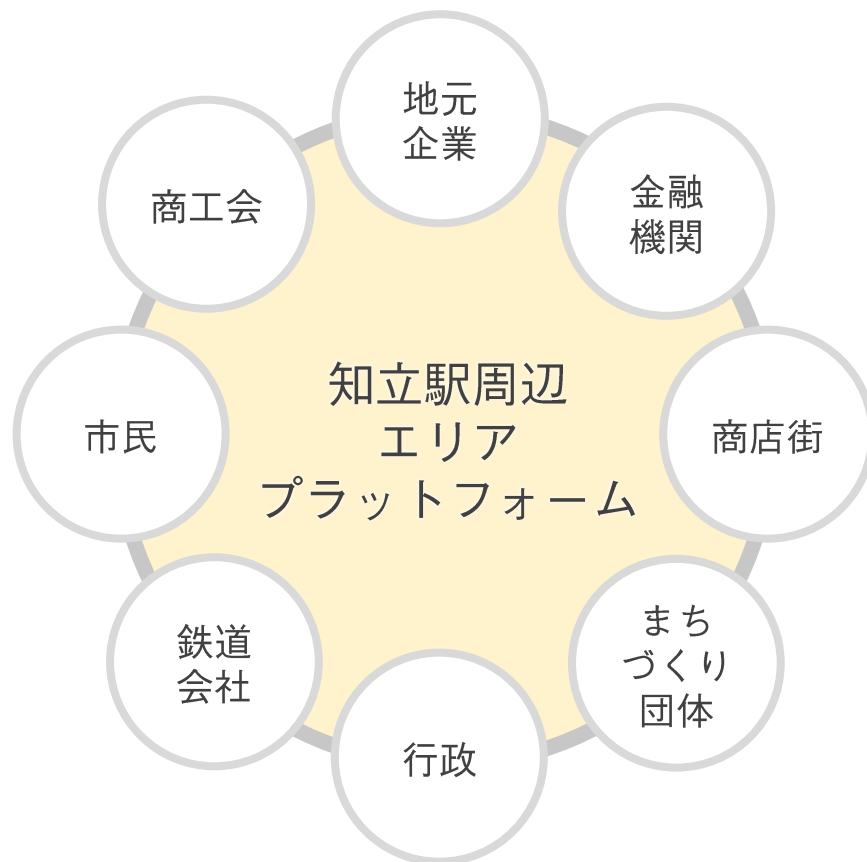
未来ビジョンについて

- 
- ・ 知立駅周辺エリアの役割
 - ・ 未来ビジョンの策定主体

未来ビジョンの策定主体

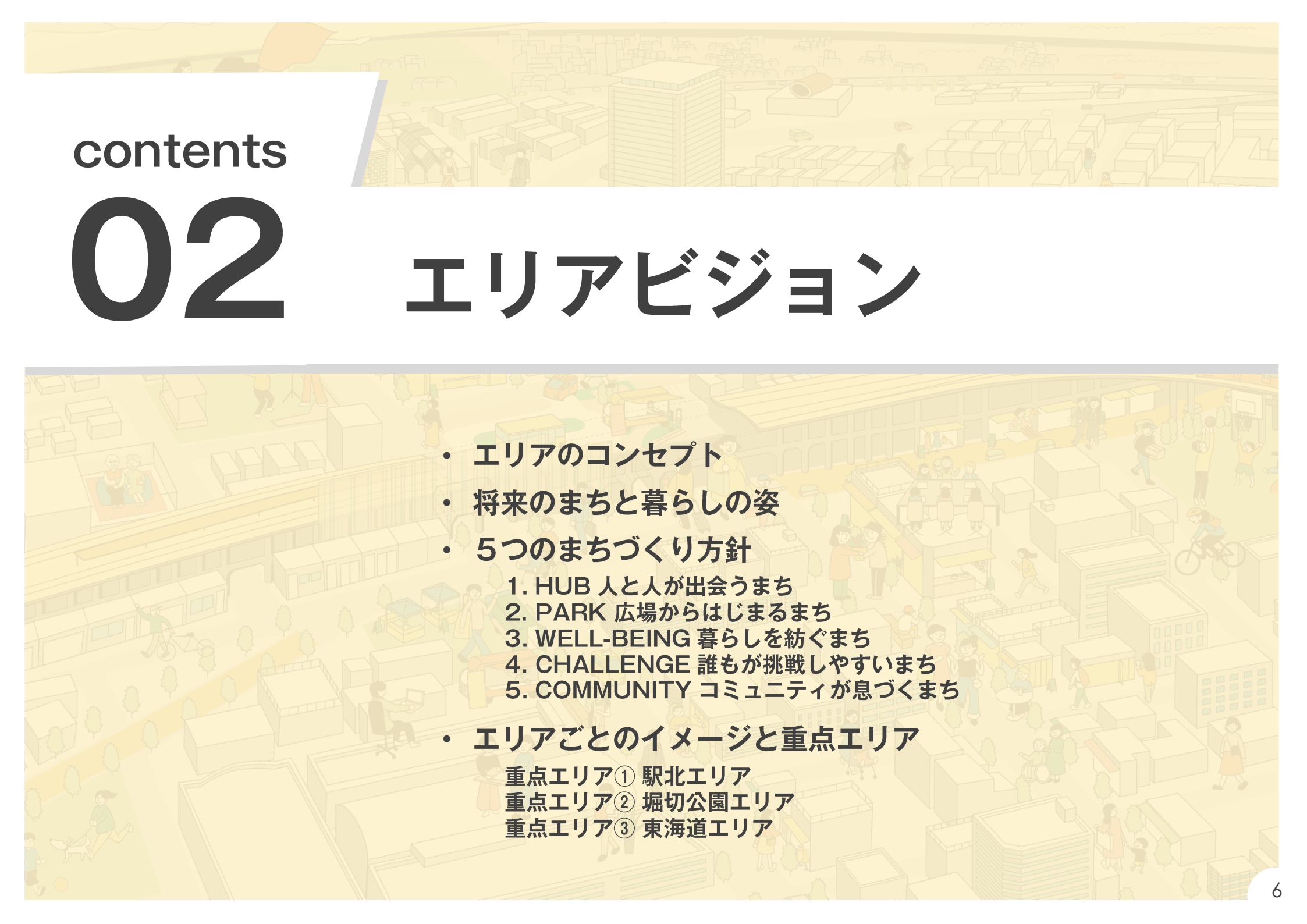
策定主体 | 知立駅周辺エリアプラットフォーム

ビジョンの策定にあたっては、エリアに関わる様々な主体によるエリアプラットフォームを中心に、ワークショップ等を通じて様々な市民の意見を聞きながら議論を進めました。
今後も各主体が積極的に議論と試行を繰り返し、見直しを行いながら、ビジョン実現を目指します。



エリアプラットフォーム会員 ◎会長、○副会長、●監事

- ◎ 知立まちづくり株式会社
 - 町内会（本町）
 - 町内会（新地町）
- 知立市商工会
 - 駅北発展会
 - 駅南振興会
 - 一般社団法人ゆめナビジャパン
 - 株式会社藤田屋
 - 株式会社キャッチネットワーク
 - 株式会社FUJI
 - ブラザー精密工業株式会社
- 碧海信用金庫知立支店
- 名古屋鉄道株式会社
 - 知立市観光協会
 - 知立市役所 市民部（事務局：経済課）
 - 知立市役所 都市整備部



contents

02

エリアビジョン

- エリアのコンセプト
- 将来のまちと暮らしの姿
- 5つのまちづくり方針
 1. HUB 人と人が出会うまち
 2. PARK 広場からはじまるまち
 3. WELL-BEING 暮らしを紡ぐまち
 4. CHALLENGE 誰もが挑戦しやすいまち
 5. COMMUNITY コミュニティが息づくまち
- エリアごとのイメージと重点エリア
 - 重点エリア① 駅北エリア
 - 重点エリア② 堀切公園エリア
 - 重点エリア③ 東海道エリア

エリアのコンセプト



知立駅周辺地区は、古くは東海道五十三次の池鯉鮒宿として、

現在は名鉄本線と三河線が交わる交通の要衝として、

様々な人々が交わる、つながるまちとしてこれまで成長してきました

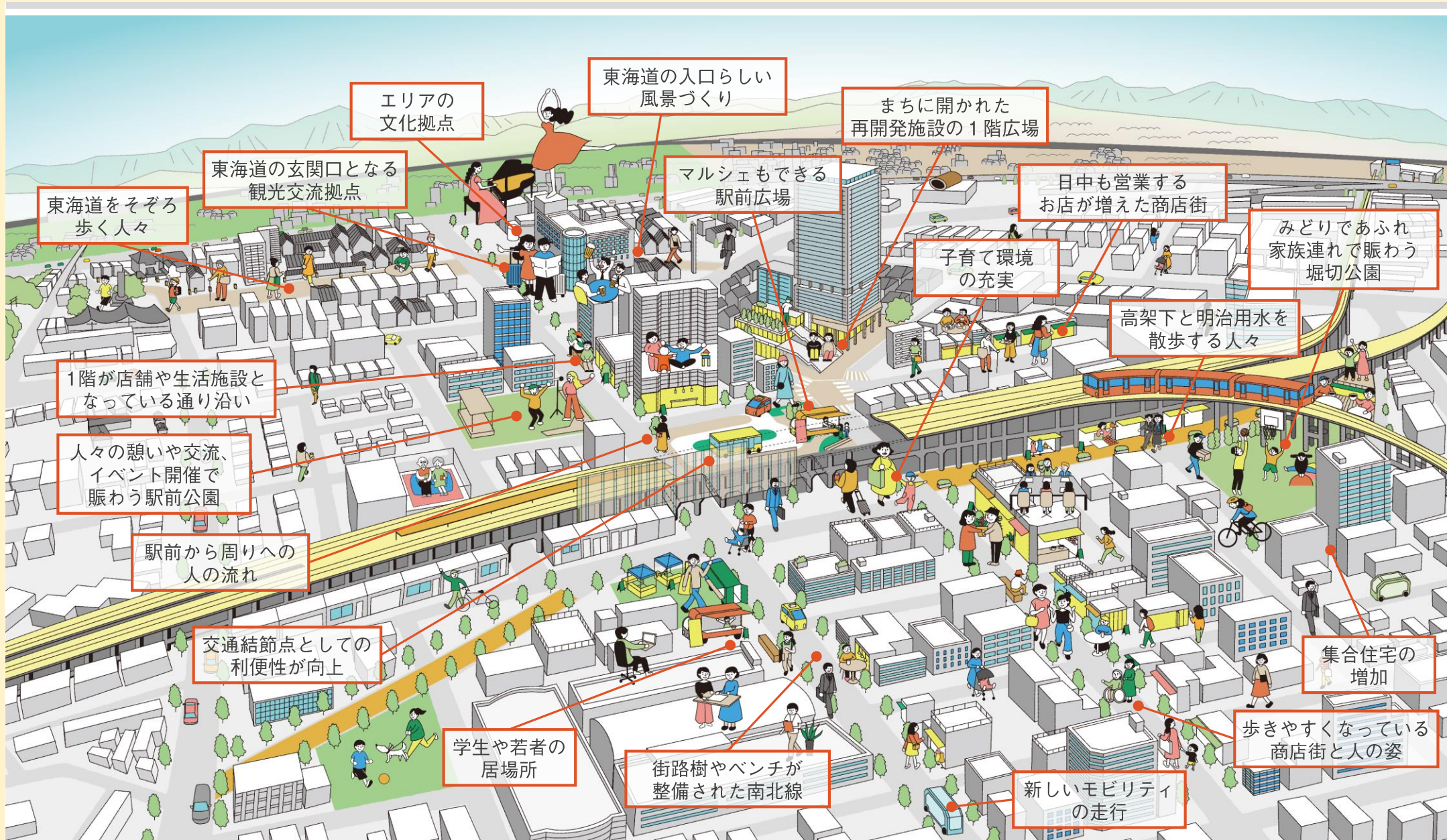
100年に1度のまちづくりのこの契機に、西三河の様々な地域をつなぐ玄関口として、

宿場町としてのアイデンティティを現代に受け継ぎ、新しいものと古いもの、

暮らしと生業、憩いと賑わい、様々な人や場所、時間をつなぎ、

そこから新しい **魅力や暮らし、挑戦を生み出す** まちを目指します

将来のまちと暮らしの姿



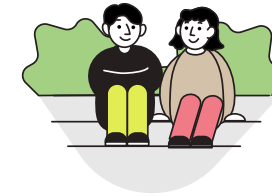
5つのまちづくり方針

policy
01

HUB 人と人が出会うまち

policy
02

PARK 広場からはじまるまち

policy
03

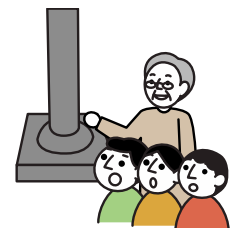
WELL-BEING 暮らしを紡ぐまち

policy
04

CHALLENGE 誰もが挑戦しやすいまち

policy
05

COMMUNITY コミュニティが息づくまち



HUB 人と人が出会うまち

利便性の高い交通結節点であることを活かし、単なる通過点ではなく、目的地となるエリアを目指します。

賑わいと暮らしの多様な機能を集め、エリア一帯の歩きやすさと回遊性、アクセス性を高めることで、市内外から様々な人が集まり、出会い、関わり、新しい魅力を生むまちを実現します。

ワークショップや検討会議での意見



- 週末のお昼に大人も子どももでかけたくなるエリアに！
- 立ち寄りたいたいお店が多くある場所になってほしい！
- 昼に行くことのできる飲食店、ランチの店を
- 待ち合わせや気軽に行ける場所やカフェが学生に必要
- 誰もが歩きやすい、交通安全にも配慮したまちに
- 高架下などを利用して市内の主要施設の歩行動線確保を
- 駅周辺から自宅までの移動手段の充実が必要
- 公共交通と自家用車のどちらでも来やすい駅・まちへ

※アイレベル | 人の目線の高さや1階レベルを指す

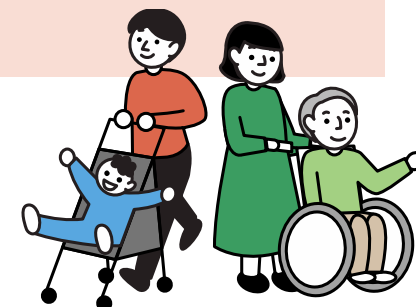
1 アイレベル^{*}での賑わい

目線の高さで人の営みや賑わいを感じられるよう、1階レベルに暮らしや商業の多様な機能を誘致し、人の活動をまちににじみだします。



2 歩きやすさと回遊性

街路や広場を活かし、歩行空間の歩きやすさと安全性の向上、ネットワーク化を行うことで、エリア内外の回遊を生み出します。



3 広域的なアクセス

鉄道やバス、新しいモビリティなどにより、市内外の様々な場所から駅周辺エリアに多くの人々が訪れやすい交通環境を作ります。



PARK 広場からはじまるまち

駅周辺整備事業で生み出される広場や公園を活かし、多様な人の居場所とするとともに、活躍や挑戦を生み出すエリアを目指します。

知立の玄関口にふさわしい広場を創出するとともに、多様な人々が過ごせる居場所、様々な活動や挑戦の舞台となるための仕掛けや仕組みを組み合わせ、まちの可能性を引き出します。

ワークショップや検討会議での意見



- 駅前に知立をPRできるシンボリックな風景が欲しい！
- 屋根がついた全天候型の広場があるといい
- 水景や音楽、光など、毎日がショータイムとなる広場に
- 子どもを安心して遊ばせられる+親も居心地良い空間を！
- 駅から出てゆっくりできる、待ち時間を過ごせる場所を！
- 緑のある環境にも配慮したまちにしたい
- 「できない」ではなく「できるようにする」を考えたい
- なんでも「できる」場を作ることが大事

1 知立の玄関口

知立の玄関口にふさわしい駅前広場や公園を整備し、平日は駅利用者や学生の居場所に、休日は様々な魅力を発信する場を作ります。



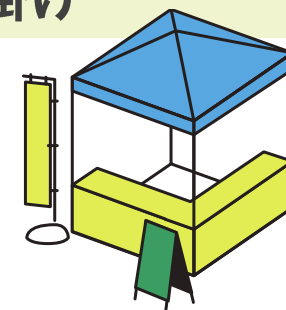
2 憩いや居場所となる空間

居心地のよい空間やみどりなどにより子育て世帯をはじめ、様々な人が憩い、ゆったりと過ごせる居場所づくりを行います。



3 賑わいと挑戦を生む仕掛け

広場や公園で様々な挑戦や活動が実施できるように、広場・公園活用に向けたルールや仕組み、必要な設備の導入を行います。



WELL-BEING 暮らしを紡ぐまち

生活に必要な機能がコンパクトに集まり、子どもから高齢者まで、様々な人が憩い、遊び、安心して居心地よく暮らせるエリアを目指します。駅周辺整備事業と合わせてエリアの魅力を積極的に発信します。加えて、子育て環境の充実や、夜間をはじめとした安全安心な住環境を確保し、便利で居心地の良い暮らしの場を作ります。

ワークショップや検討会議での意見



- 若い女性に好まれるまちが定住につながるのでは
- 保育園、学校、スーパー等の日常生活が駅周辺ですべて完結できるように
- いつも子どもの声が聞こえるまちになるといい
- 共働きで子育てしやすいエリアになってほしい
- 駅周辺に行けばみんなの問題が解決するように
- 夜間になるとたばこの煙や酔っ払いが多いので、夜でも安心感のある場所になってほしい
- 災害が起きても安心できる防災拠点が必要

1 移住・定住しやすい環境

生活や子育てに必要な様々な施設をコンパクトに集めるとともに、エリアの暮らしやすさや魅力を情報発信し、定住環境をPRします。



2 子育て環境の充実

子育てに必要な機能を誘致するほか、子どもと一緒に出掛けやすい環境や居場所づくり、教育環境の充実を図ります。



3 安全・安心な住環境

防犯活動の強化や照明等の環境整備、高齢者の自立生活支援等により、誰もが健やかに安心して暮らせる環境を作ります。加えて、防災機能の強化を行います。



CHALLENGE 誰もが挑戦しやすいまち

学生や若者をはじめ、様々な人が新しいことに挑戦できる環境を整え、その挑戦が積極的にまちづくりに取り入れられるエリアを目指します。学生や若者の活躍・挑戦、様々な技術やアイデアの実証、起業やビジネス拠点の設置を積極的に応援できる仕組みや機会を創出し、ここから市内や全国に向けて新しい可能性を発信します。

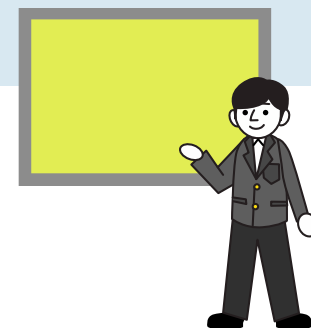
ワークショップや検討会議での意見



- 学生が地域や企業と もっと話せる機会が増えるといい
- 自分の地域で何をやっているのか、何ができるのか、情報や機会がないので入ってくるといい
- 若者の活躍は大人が求めるもののアウトプットではない
- 知立を実証実験都市にしたい！
- 歴史的資源とテクノロジーが組み合わせると面白そう
- 昼間に働く人を増やすための企業誘致を！
- ここにしかない魅力的なお店が集まってほしい

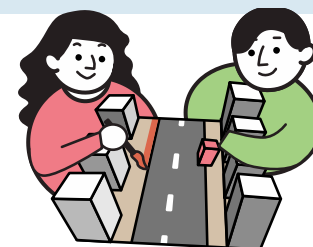
1 学生や若者の挑戦

学生や若者が、自分たちの活動の発表の場を得たり、まちづくりに気軽に参加したり、やりたいことができる機会を作ります。



2 新しい技術やアイデアの実証

新しい技術やアイデアを実際のまちなかで実証しやすいインフラや仕組みづくりを行い、それを積極的にまちづくりに取り入れます。



3 起業やビジネス拠点の支援

スタートアップや個人店など様々なタイプの起業を応援します。更に、交通利便性を活かしたオフィスやビジネス拠点誘致を行います。



COMMUNITY コミュニティが息づくまち

地域の様々な主体が連携し、それぞれにできることを実現しながらまちを育て、これまでの歴史や文化をつないでいくエリアを目指します。

新旧の住民、商業など様々なコミュニティが関わり合う機会を増やししながら、知立まつりや東海道など歴史文化の継承を進めます。加えて、地域が持続的にまちづくりを進める体制づくりを行います。

ワークショップや検討会議での意見



- 新しい住民がまちづくりに参加する機会があるといい
- 子育て世代のニーズをまちづくりに反映する仕組みを
- リリオで行われている文化イベントをまちに開こう！
- 知立の歴史や文化遺産の点と点を面としてつなげたい！
- 知立まつりなどに若い世代やファミリーも参加しやすく！
- 知立の歴史や文化を学ぶ機会を作りたい
- 地元企業が利益を還元しながらさらに発展できるように
- まちづくりを推進する体制づくりが重要

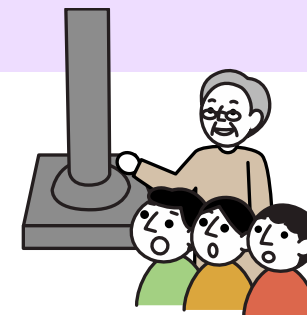
1 多様なコミュニティの関わり

新しく暮らす住民と古くから暮らす住民、商業組織と住民組織、それぞれのコミュニティを大事にしながらまちづくりを進めます。



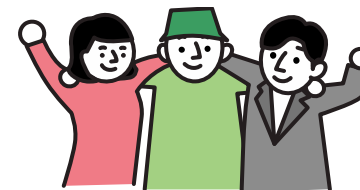
2 歴史や文化の継承

知立神社や東海道、知立まつりなどの文化資源をネットワーク化し、若い世代や子どもたちが気軽に歴史や文化を学べる環境を整えます。



3 まちを育てる体制づくり

エリアプラットフォームやまちづくり会社など、まちづくりを持続的に進める体制づくりと、そのための仕組みを整えます。



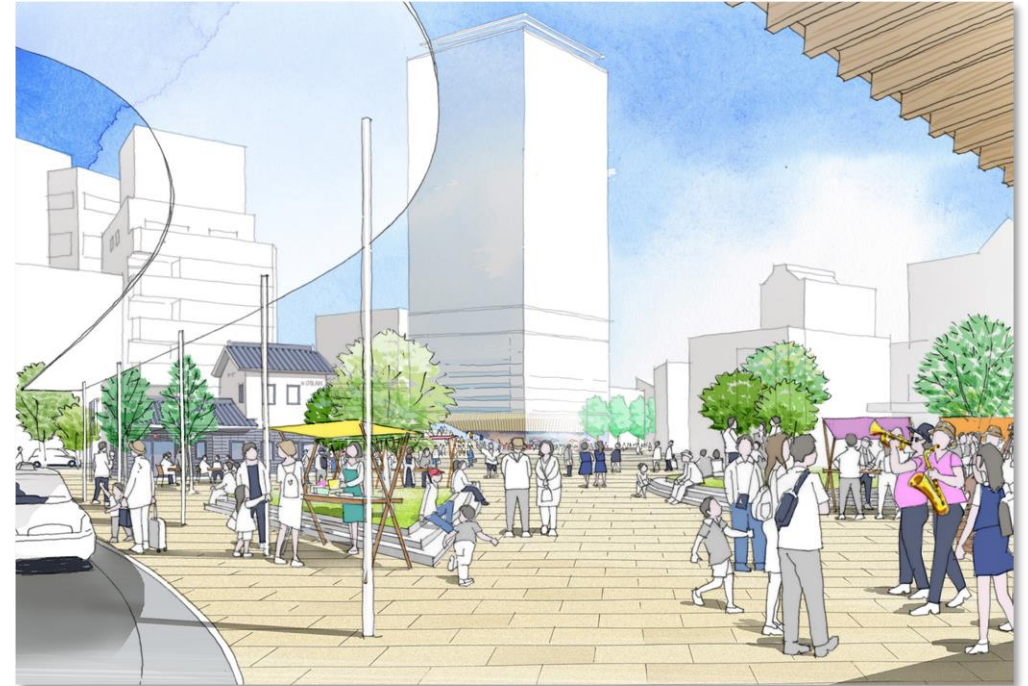
重点地区① 駅北エリア

多面的な機能が集積し賑わう 西三河の玄関口

西三河、そして知立の玄関口として、新たに整備される駅前広場を中心に、賑わいと暮らし、商業と生活の様々な機能が集まり、昼も夜も様々な人が集い、そこを起点に人が回遊するエリアを目指します。

広場や公園は駅利用者や住民、来訪客の居場所となるとともに、休日には多様なイベントや活動により多くの人であふれます。

エリアの主要な通りでは、歩きやすく豊かな歩行空間と、店舗が連続する沿道施設により、昼も夜も人が行き交います。



※パースはイメージです

駅前広場

- ❑ 西三河の玄関口にふさわしい風格ある風景
- ❑ 日常の居場所となる滞在環境と情報発信設備
- ❑ 交通結節機能を確保しつつ交流空間を創出
- ❑ 交通弱者にも配慮した円滑な歩行動線

駅前公園

- ❑ イベントに利用できる交流空間・機能とルール
- ❑ 多様な世代の日常的な居場所となる滞在空間
- ❑ 駅前広場や知立南北線と一体的に利用できる空間構成の検討

知立南北線・栄線・本町堀切線

- ❑ 駅から他地区へと回遊できる歩きやすく安全な歩行環境と滞留施設
- ❑ 生活に必要な機能(買い物施設など)の誘致
- ❑ 店舗が連続し賑わいを生む通りの沿道施設と活動の展開

西新地再開発事業

- ❑ 駅前から人を出迎える広場の配置と動線確保
- ❑ 日中でも人が集う多面的な都市機能誘致の検討

重点地区② 堀切公園エリア

公園と遊歩道、高架下空間を核とした新たな生活と憩いの中心拠点

堀切公園を中心に、緑化などによる居心地のよい空間づくりや賑わい機能の充実など、都市生活者の憩いや生活の中心となる新たな拠点を目指します。

堀切公園では、子どもたちが安心して遊べる空間を中心に、高架下空間も利用して多様な活動を支える機能配置を検討します。

駅や他地区から公園への経路となる環状線や明治用水遊歩道においても、みどりと憩いの歩行環境の形成を進め、エリアの一体的な回遊性を生み出します。



※パースはイメージです

堀切公園

- 樹木や芝生など、みどりによる憩える空間
- 民間事業者の協力によるカフェやアクティビティ施設等の配置検討
- 高架下空間と明治用水、堀切公園の一体的な空間配置の検討

周辺街区や歩行者動線

- 知立環状線における歩きやすく安全な歩行環境と滞留施設等の整備、沿道施設における店舗の連続
- 明治用水上部を活用した駅と公園を結ぶ遊歩道の整備と豊かな歩行環境の確保
- 高架下空間の一体的な活用検討による公園及び駅のアクセス機能と賑わい機能の充実
- 駅から堀切公園に至る商店街での店舗の誘致

重点地区③ 東海道エリア

東海道の歴史や文化と新しい魅力が融合した特色ある通りの再生

歴史と文化を有する東海道の道筋を活かしつつ、新しい魅力との融合による特色あるまちづくりの展開を行います。

通りや沿道、点在する史跡等の修景検討により、東海道らしい趣のある風景の再生を検討するとともに、沿道の建物を利用した魅力的な小規模店舗の充実を進めます。

観光交流センターの機能充実や回遊性の向上に向けた情報発信など、ソフト的な取り組みと合わせて、散策に来る来訪者の体験の質の向上を進めます。



※パースはイメージです

東海道

- 照明や舗装などの改善による東海道を感じさせる道の風景の創出
- 史跡やサインの空間改善による散策魅力の可視化
- 民地等を活用した小さな広場や庭の創出

リリオ・コンサートホール及び観光交流センター

- リリオ・コンサートホールが企画するプログラムのまちなか展開によるエリアの魅力向上
- 観光交流センターの機能充実による東海道の魅力発信強化と回遊性の向上促進
- 沿道建物や空き家等の活用による魅力的なカフェや小規模店舗の充実
- 公共空間などを利用した池鯉鮒宿の雰囲気やイメージの継承と表現



contents

03

アクションプラン

- 将来のまちの姿の実現ステップ
 1. HUB 人と人が出会うまち
 2. PARK 広場からはじまるまち
 3. WELL-BEING 暮らしを紡ぐまち
 4. CHALLENGE 誰もが挑戦しやすいまち
 5. COMMUNITY コミュニティが息づくまち

将来のまちの姿の実現ステップ

将来都市像を実現するために、行政や企業、地域などエリアの関係者や外部の協力者が分担しながら実施する取り組みを、短期・中期・長期の3つのステップで描きます。

TRIAL 2030

5年以内に実施する取り組み

これからのまちづくりや駅周辺整備事業の具体化に向けた、個別の検討や調査、小さなアクション、実証実験や試行

ACTION 2035

10年後までに実現する取り組み

重点エリアを中心としたインフラ整備事業と、同時に実現する制度や仕組み、ソフト的な取り組み

CHALLENGE 2050

25年後までに挑戦する取り組み

駅周辺整備事業をきっかけにさらに地域が飛躍するための取り組みや新しいチャレンジのアイデアと、2050年に向けて予定・計画されている事業や構想

HUB 人と人が出会うまち

1 アイレベルでの賑わいづくり

TRIAL

2030

5年以内に実施する取り組み

商業誘致の機会づくり

- 広場や空地を活用したお試し出店機会の創出
- 不動産開発に対する地上階の商業誘致に対するサウンディング※

ACTION

2035

10年後までに実現する取り組み

駅北地上階の商業誘致

- 開発に対する商業誘導のための支援施策実施（昼業態を中心に）
- オープンカフェなど、歩道空間活用の制度化

CHALLENGE

2050

25年後までに挑戦する取り組み

周辺エリアの商業集積

- 駅南地区や新地・新富地区の商業機能集積

2 歩きやすさと回遊性の向上

回遊性向上の実証

- 道路や広場での滞留施設設置の実証実験
- 歩行ネットワーク検討
- エリアの情報発信
- 公共交通の利用促進とエリアを回遊するモビリティの必要性検討

新設街路の機能向上

- 南北線や環状線等の滞留施設や景観整備
- エリア内外をつなぐ歩行者ネットワーク整備（サイン、安全施設）

街路の歩行空間拡充

- 本町堀切線のコミュニティ道路化
- 東海道の歩行空間充実
- エリア内における新モビリティの導入

3 広域的なアクセスの拡充

駅前広場の機能向上

- 駅前広場の整備による公共交通の乗換・待合機能の充実
- 広域バスや企業バスの拡充検討

駅前広場の機能拡充

- 駅前広場等を活用したバスやモビリティの発着機能の充実

PARK 広場からはじまるまち

1 知立市らしい 玄関口の整備

2 憩いや居場所となる 空間づくり

3 賑わいと挑戦を生む 仕掛けづくり

TRIAL

2030

5年以内に実施する取り組み

新たに整備される 公園・広場の活用 に向けた実証実験の実施

- 駅前暫定広場の活用を通じた多様な主体による多様な活動の試行
- 各広場や公園に対する市民ニーズの把握
- 公園・広場整備に対する企業の協力可能性の検討とサウンディング※

ACTION

2035

10年後までに実現する取り組み

駅前広場の整備

- 日常的な居場所となり、イベントに活用可能な交流空間の整備
- 玄関口にふさわしい景観の整備

駅前公園・堀切公園

- 多様な世代が憩うことができる公園の整備（木陰や屋根も）
- 周辺敷地との一体性を確保するための連携
- 民間企業との連携

広場活用制度の導入

- 新たな広場や公園において、多様な利活用を受け入れられる制度の導入

CHALLENGE

2050

25年後までに挑戦する取り組み

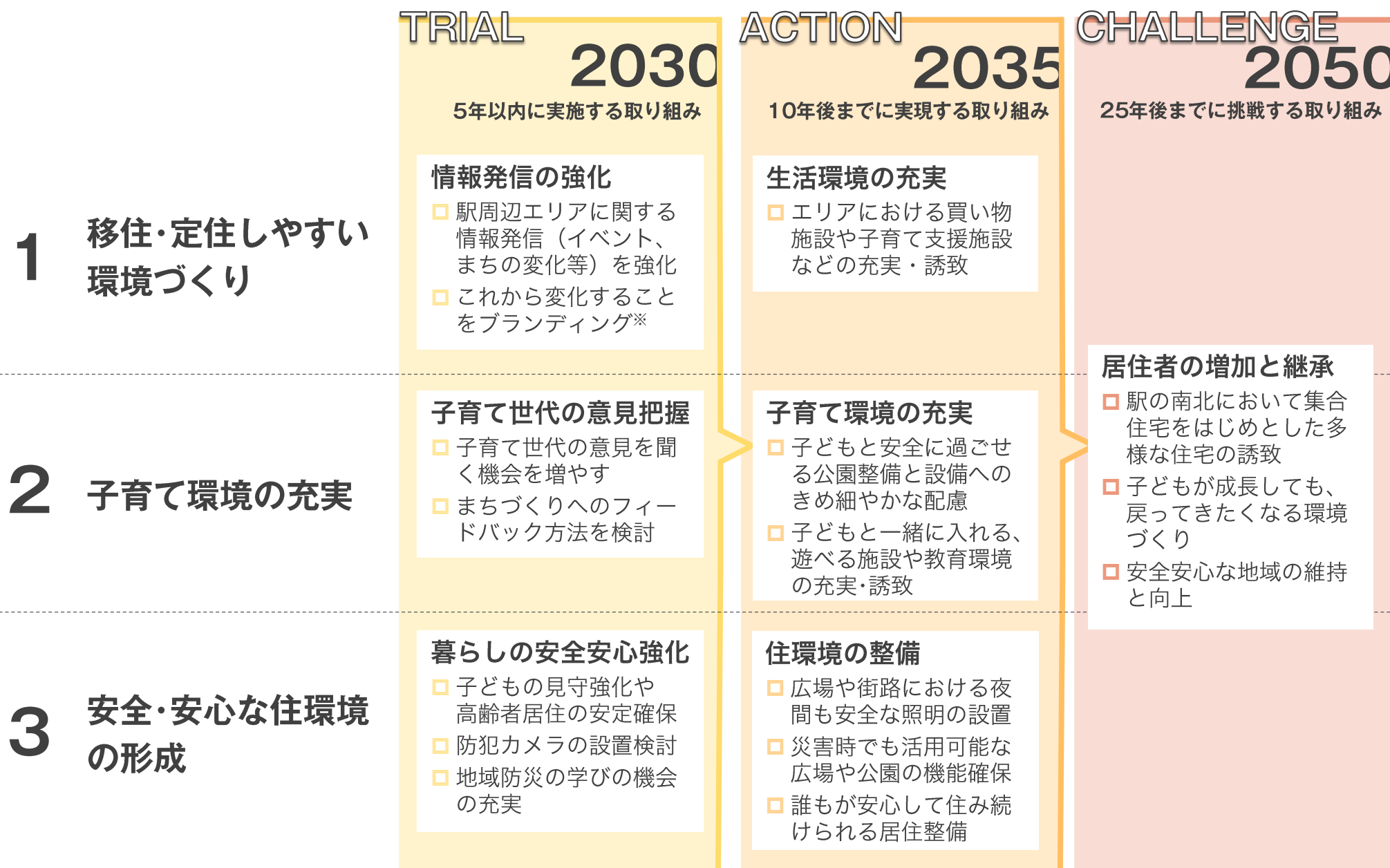
駅前広場の充実・拡張

- 駅玄関口における多様な観光交流機能の充実

みどりと賑わいの ネットワークの形成

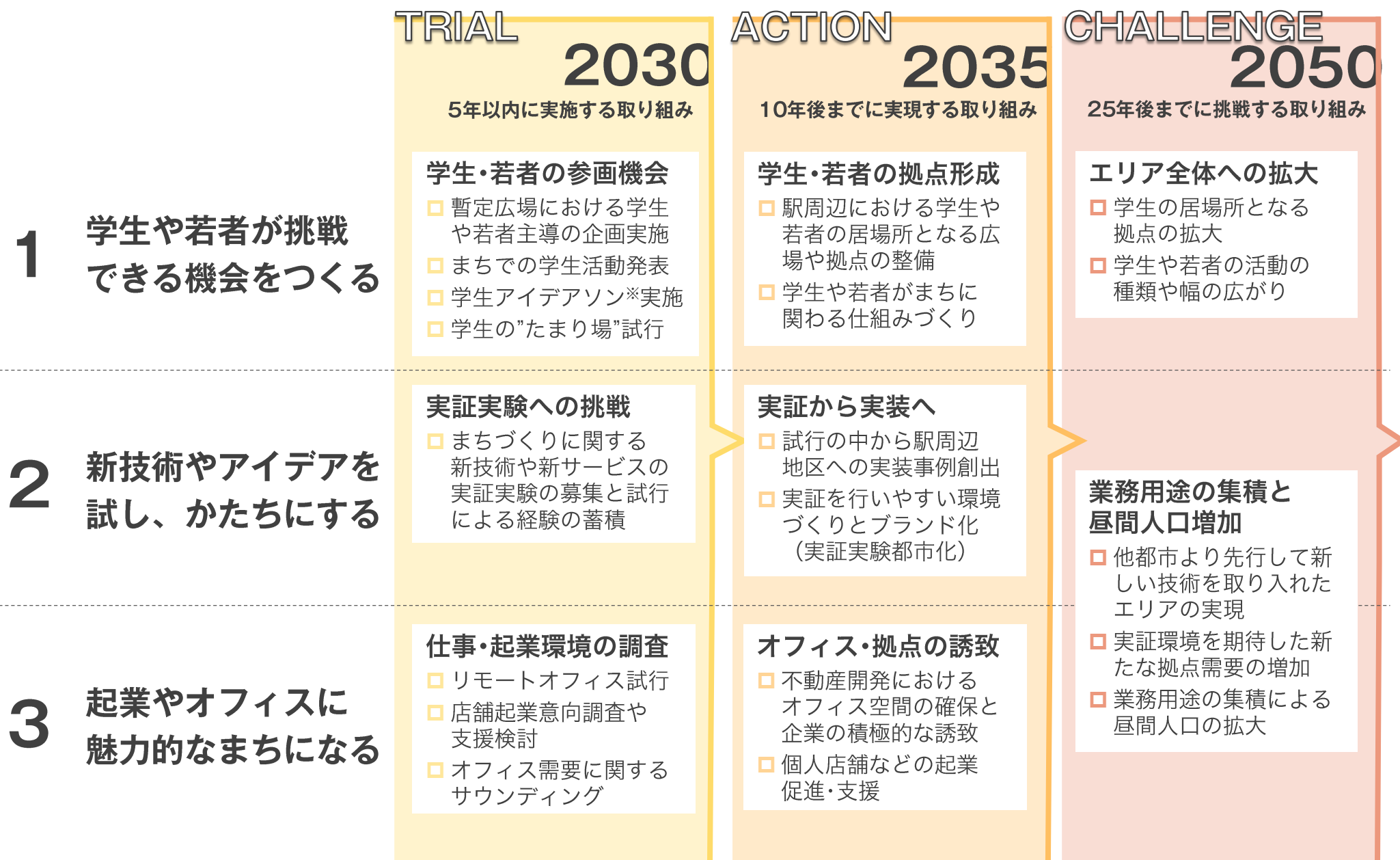
- 規模や内容が多様な広場・公園の充実（池端公園、リリオ周辺、旧三河知立駅周辺等）
- 公園・広場と街路、民間敷地が連なるみどりの形成
- 地域と連携した維持管理体制の強化

WELL-BEING 暮らしを紡ぐまち



※ブランディング | 効果的な発信等により価値を高めること

CHALLENGE 誰もが挑戦しやすいまち



COMMUNITY コミュニティが息づくまち

1 多様なコミュニティの関わり

TRIAL 2030

5年以内に実施する取り組み

地縁組織の体制強化

- 既存町内会や商店街の課題把握と体制強化に向けた検討
- 新たな住民の声を聴く機会づくり

ACTION 2035

10年後までに実現する取り組み

新たな住民の参画

- 新しくこのエリアに暮らす住民の地域への参画機会の確保
- 町内会活動や商店街活動同士の連携拡大

CHALLENGE 2050

25年後までに挑戦する取り組み

コミュニティとまちづくりの継続的な発展

- 地域で継続的にまちを運営する体制構築（地縁組織の安定的存続・まちづくり体制の確立）
- 祭りや歴史文化の継承体制の構築
- 公共空間などを利用した池鯉鮒宿の雰囲気表現

2 歴史文化を引き継ぐ仕組みづくり

歴史文化への関心強化

- 知立まつりへの関心作り
- 東海道のあり方検討と部分的な修景の実施
- リリオのまちなか展開
- 観光交流センター強化

東海道整備と参加拡大

- 東海道修景や沿道施設・史跡、サイン更新整備
- 知立まつりの体制強化と参画機会の拡大

3 まちを育てる地域の体制づくり

まちづくり体制の検討

- エリアプラットフォーム構築と持続的な運営体制の構築
- まちづくりを進める法人組織と収益源の検討

まちづくり体制の確立

- エリアプラットフォームの規模拡大
- まちづくり組織構築と、自主的な事業運営体制の構築



contents

04

ビジョンの実現に向けて

- 
- ・ 率先プロジェクト（2024-2025）
 - ・ ビジョン実現の進め方

率先プロジェクト（2024-2025）

2024-2025年から具体的に実践を始めるプロジェクトを「率先プロジェクト」と位置づけ、各メンバーが協力を行いながら、それぞれの取り組みを推進します。

プロジェクト名	関係主体	HUB	PARK	WELL-BEING	CHALLENGE	COMMUNITY
①駅前暫定広場の利活用プロジェクト 賑わい創出のための多様な利活用を試行し、将来の広場活用に向けた必要環境を調査	(一社)ゆめナビジャパン、知立市商工会、知立市経済課 等	●	●			
②まちなか事業者誘致プロジェクト 新規出店やオフィス開設の支援、創業・起業に関するニーズや課題等の把握	知立市経済課・企業立地推進課、知立市商工会、碧海信用金庫 等	●			●	
③高齢者居住サポート実証プロジェクト 見守りシステムの実証による高齢者の自立生活支援や住宅確保のための効果検証	(株)FUJI、野村開発(株)、知立市経済課 等			●	●	
④東海道まちなみ修景プロジェクト 多様な関係者による東海道のあり方検討やまちなみの修景のための取り組みの推進	知立まちづくり(株)、銀座エリアの沿道関係者、知立市経済課 等	●				●
⑤公共空間デザインプロジェクト 公共空間のデザイン検討による知立市の玄関口にふさわしい景観づくりの推進	知立市都市開発課、有識者 等	●	●			

①駅前暫定広場の利活用プロジェクト

主な実施主体：(一社)ゆめナビジャパン、知立市商工会、知立市経済課 等

- 将来の駅前広場や公園のあり方、賑わいづくりにおいて必要な設備等を検討するため、駅前暫定広場において多様な利活用や居場所づくりを実証し必要な環境を検証

HUB

PARK

事業内容

1. 広場の利活用主体の発掘と育成

- 暫定広場の利活用へ様々な主体による挑戦を後押しし、主体を発掘・育成します
- 知立市商工会のキッチンカーの貸与等により出店機会の創出を支援します



2. 日常的な居場所づくりの効果検証

- 椅子やベンチ等の設置を行い、日常的な居場所となる空間を整備します
- イベント時や平常時の人の流れを調査し、賑わい創出に向け必要な取り組みを検証します



② まちなか事業者誘致プロジェクト

主な実施主体：知立市経済課・企業立地推進課、知立市商工会、碧海信用金庫 等

- 知立駅周辺エリアにおける商業や生活サービス、業務機能の集積に向け、エリア内での起業や出店の支援を行うとともに、エリアにおける出店ニーズや課題を把握・分析 **HUB** **CHALLENGE**

事業内容

1. 商業・オフィスの誘致促進

- 空き店舗を活用して新規出店を行う事業者に対し、家賃や改装費の一部補助を行い、エリア内の商業集積を支援します
- 創業・起業、スタートアップ支援を通じた補助事業の普及や相談支援を行います



2. 戦略的な商業誘致の検討・計画

- 商工団体や企業のノウハウを活かして、エリアにおける商業や生活サービス、オフィス等の立地戦略を検討し、商業・業務機能の誘致手法を検討します



③ 高齢者居住サポート実証プロジェクト

主な実施主体：(株)FUJI、野村開発(株)、知立市経済課 等

- スタートアップ企業等が魅力的に感じる街を実現するため、様々な新技術や新サービスの実証実験を行いやすいまちとして、必要な環境を整えるための準備 **CHALLENGE**
- その第1弾として、市内企業の開発する見守りシステムを対象に実証実験を行い、高齢者が安心して住居を借りることが出来るエリアの実現を目指したサービスの開発 **WELL-BEING**

事業内容

1. 新技術による豊かな暮らしの実現

- (株)FUJIが開発している見守りセンサーの実証実験を通じて、早期のフレイル検知による高齢者の自立的生活を支援します
- 実証実験のフィールドとして、企業参入を促進するための支援体制等を検討します



株式会社FUJI提供資料

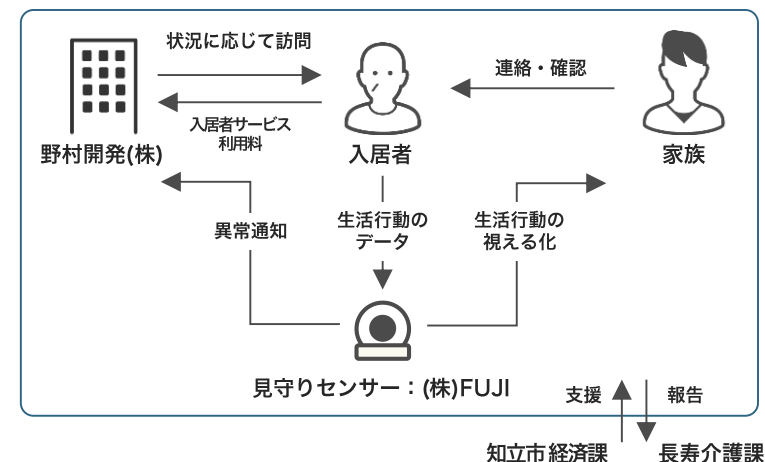


見える行動

- 【 在室状況 】
- 【 外出状況 】
- 【 睡眠状況 】
- 【 トイレ回数 】

2. 居住サポート支援の実証

- 野村開発(株)が管理する賃貸物件での実証により、独居高齢者の入居条件の緩和等の可能性検証を行います
- 高齢者の生活行動のデータ分析をもとに必要な福祉サービスとの連携を推進します



④ 東海道まちなみ修景プロジェクト

主な実施主体：知立まちづくり(株)、銀座エリアの沿道関係者、知立市経済課 等

- 訪れる人が少しでも歩いて楽しいと感じられる通りを目指して、沿道の多様な主体との連携や建物活用を通じて、東海道らしいまちなみへの修景を推進

HUB

COMMUNITY

事業内容

1. 東海道らしい風景のあり方検討

- 勉強会やワークショップ等を通じた議論や検討により、暮らしや歴史・文化、観光など、多様な関係者による今後の東海道のあり方を検討する機会を創出します



2. 風景づくりのための実証実験

- 沿道店舗や商店街、大学等が協力し、軒先の活用や灯りの実証など、東海道らしい風景や空間づくりを目的に、出来る取り組みから実証を行います



※パースはイメージです

⑤ 公共空間デザインプロジェクト

主な実施主体：知立市都市開発課、有識者 等

- 新しく整備される道路や公園、駅前広場等の公共空間の計画やデザイン検討を通じて、西三河、そして知立市の玄関口にふさわしい景観づくりを推進 **HUB** **PARK**

事業内容

知立駅周辺の公共空間のデザイン検討

- 知立駅周辺街並みデザイン構想や未来ビジョン等を参考に、有識者らとともに各公共施設の舗装や照明、植栽等の計画・検討を行います
- 道路や広場等の一体的な空間・景観デザインにより、エリア全体での回遊性や魅力の向上を図ります



知立駅周辺街並みデザイン構想：イメージパース（駅前広場、駅前公園、堀切公園）

出典：知立市 知立駅周辺街並みデザインプロジェクト (<https://www.city.chiryu.aichi.jp/soshiki/toshiseibi/toshikaihatsu/1520814591641.html>)

※イメージパースは知立駅周辺街並みデザインプロジェクトにより構想案としてとりまとめられたものであり、今後の計画・設計にあたって変更・見直し等が生じる可能性があります。

ビジョン実現の進め方

■ 官民それぞれが協力して事業を推進します

行政や一部の組織だけでなく、それぞれの主体が協力・連携して、将来ビジョンの実現に向けて「やるべきこと」「やりたいこと」に取り組みます

■ 社会情勢に合わせ常にビジョンを見直します

まずは早期にできる実証や試行を繰り返しながら、その結果をビジョンの具体化や見直しにフィードバックし、ビジョンの実現を目指します

■ 継続的なまちづくり推進体制を検討します

エリアプラットフォームの意思決定や役割分担を具体化するとともに、実効的なまちづくり法人の必要性やその収益構造を検討することで、将来のビジョン実現に寄り添えるまちづくり推進体制を検討します

